

この取扱説明書は QVM シリーズ
●一面鏡
●三面鏡（全面鏡裏収納）
の2機種共通の取付・設置説明書に
なっております。

もくじ

安全上のご注意	1～3
1. 取付・設置前の事前確認	
1-1. 設置前の確認	3
1-2. コンセントの設置、電源の取出し	4～5
2. 取付・設置手順	
2-1. 化粧鏡の取付け	5～6
2-2. 電気工事	6～7
2-3. 照明カバーの着脱	7
2-4. 照明の取付け	7
2-5. 鏡扉の調整	7
3. 仕上げ	7
4. 点検	8
5. 完了後の処置	8
6. 残材処理	8
7. 寸法図	8

取付・設置をされる方へのお願い

- 取付・設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書は洗面化粧鏡のものです。その他のキャビネットはそれぞれに添付する取付・設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- この取付・設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

安全上のご注意

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

安全上のご注意（続き）

警 告

化粧鏡の設置は建築壁の構造を確かめて正しく行う。 落下して、けがをするおそれがあります。		電気工事は関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う。 火災・感電の原因になることがあります。	
製品固定ネジを空転するまで無理に締め込まない。 落下して、けがをするおそれがあります。		絶対に分解したり、修理・改造したりしない。 落下して、けがの原因となります。	
設置時にネジなどで電気コードを傷つけない。 電気コードを傷つけると火災のおそれがあります。		コードは必ず指定の取り出し口から出す。 コードを本体と壁の間に挟み込むと発熱、火災のおそれがあります。	
壁の不陸が 5mm/2m をこえる場合は、必ず壁を施工しなす。 落下して、けがをするおそれがあります。		洗面化粧台の電源プラグは定格 15A・交流 100V の壁コンセントを単独で使う。 火災の原因となります。	
直結接続を行う場合は、必ずこの説明書に記載されている直結配線の方法に従って接続を確実に行う。 不適切な接続の場合、火災や漏電のおそれがあります。		電源接続は極性を守って接続する。 照明を交換する際に、感電するおそれがあります。	
付属の取付ネジ（φ 4 × 50）を固定用の穴より壁面に確実に固定し、指定位置以外に固定しない。 固定用のネジ止め位置はキャビネット毎に決められています。固定が不足したり、位置を変えて固定すると外れたり、落下してけがをするおそれがあります。			

注 意

設置完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみのないことを必ず確認する。 使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。		研磨剤入りの洗剤・研磨粒子入りの洗浄具（不織布など）やタワシは使用しない。 すり傷、ひっかき傷がつくおそれがあります。	
取付・設置や仕上げ工事に使用する溶剤・接着剤洗剤、その他の薬品類は、容器に記載の注意表示に従って、正しくご使用ください。 誤った使い方をすると、人体に悪影響を及ぼしたり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。		酸性、アルカリ性、塩素系の洗剤、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使用しない。 変色・変質のおそれがあります。樹脂部品のトレイは割れるおそれがあります。	

1. 取付・設置の事前確認

1-1. 設置前の確認

(1) 設置部位の建築側の仕様確認

設置壁面は必ず木材などで補強されていることを確認ください。

(2) 設置場所の水平・垂直・直角などのレベルの確認

設置場所の水平・垂直・直角などのレベルを確認し、壁面上の凹凸などは平滑に仕上げてください。

⚠ 注 意

化粧鏡は凹凸の無い平滑な壁面に取付ける。

化粧鏡本体がねじれてマグネットキャッチが効かなくなり、扉が閉まらなくなる場合があります。



⚠ 注 意

取付壁面がゆがんでいる場合は鏡がゆがまないように、製品固定ネジのねじ込み度を調整しながら固定する。

化粧鏡本体がゆがむとマグネットキャッチが効かなくなり、扉が閉まらなくなる場合があります。



(3) 製品の荷受け確認

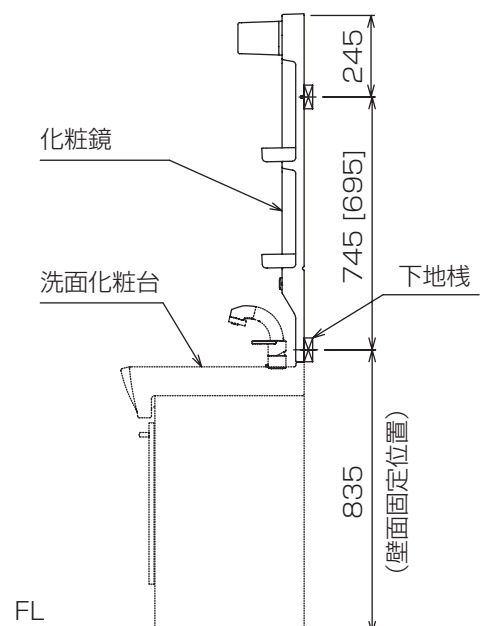
注文通りの製品が納入されているかどうか、製品の損傷・付属部品の不足はないかなどの製品の荷受け確認をしてください。

		壁固定用ネジ Φ4×50	ネジ キャップ	クッション テープ	トレー	電球形 蛍光灯ランプ	電球形 LEDランプ	照明 カバー
間口750 三面鏡	蛍光灯ランプ	4	4	1	6	2	—	2
	LEDランプ					—	2	
間口750 一面鏡	蛍光灯ランプ	4	4	1	4	2	—	2
	LEDランプ					—	2	
間口600 一面鏡	蛍光灯ランプ	4	4	1	4	2	—	2
	LEDランプ					—	2	

(4) 補強桟位置の確認

- ・製品を設置する壁面には図に示す位置に設置できる補強桟 (30 × 90 以上) が強固に固定されていることを確認してください。
補強桟は虫食いや腐れのないものを使用する。
- ・取付位置に補強があることを確認し、ない場合は補強を入れてください。
- ・壁面がコンクリート・タイルの場合は、固定用ネジ径に適合した市販のプラグを使用して取付てください。

■取付ネジ位置は8ページの「寸法図」を参照ください。



※[] 内寸法は、化粧鏡高さ 975mm の場合

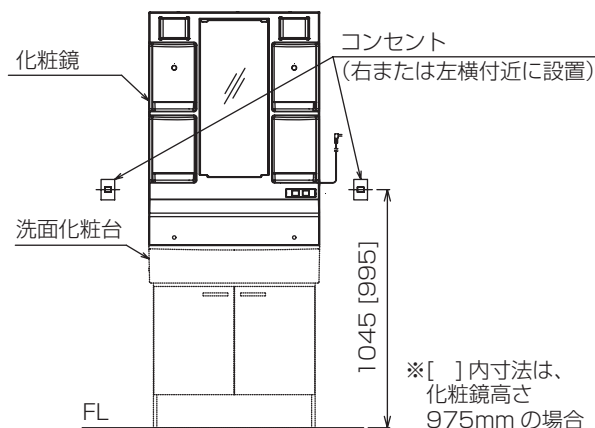
1. 取付・設置の事前確認（続き）

1-2. コンセントの設置、電源の取り出し

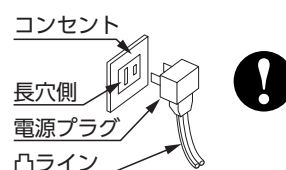
電源プラグの場合

取付・設置時は必ず電源ブレーカーを「切」の状態にして取付・設置してください。漏電やケガ、器具を破損するおそれがあります。

◎化粧鏡用コンセントは、化粧鏡の右または左横付近に設置してください。

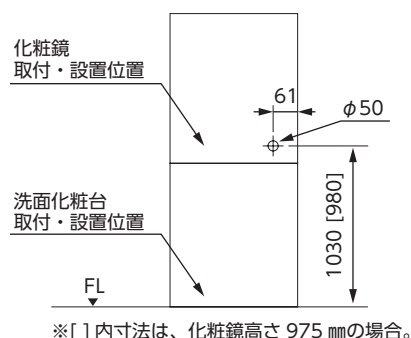


電源プラグの差し込み方向によっては、コンセントの極性が逆になります。電源コードに凸ラインが入っている側を、コンセントの長穴側（アース側）に接続してください。

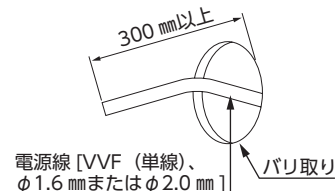


電源直結配線の場合

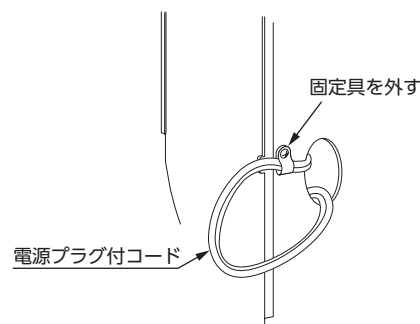
◎洗面化粧台、化粧鏡を取付・設置する前に、あらかじめ電気工事業者に依頼して、右記の所定位置から電源線（VVF（単線） ϕ 1.6mmまたは ϕ 2.0 mm）を取り出しておいてください。



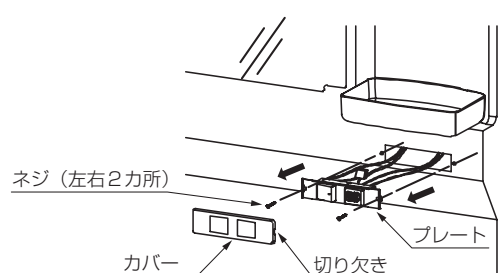
◎電源線を取り出すときは、バリ取りを行った約 ϕ 50mmの穴より300mm以上取り出してください。端部のバリがあると、電源線を傷つけ、火災・感電のおそれがあります。



(1) 化粧鏡の裏側の固定具を外します。

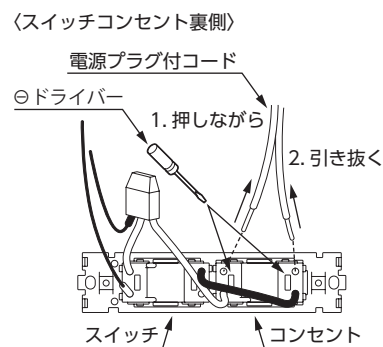


(2) スイッチコンセントのカバーの切り欠き部にマイナスドライバーを差し込んで取り外します。ネジを外し、スイッチコンセントのプレートを右図のように外します。
※外したネジは、なくさないように注意してください。プレートの穴にネジを入れ、カバーをプレートにはめ込んでおくとなくしにくいです。

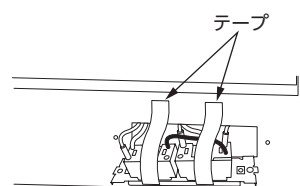


1. 取付・設置の事前確認（続き）

- (3) コンセント裏の解除ボタンをードライバーで押しながら、電源プラグ付コードを引き抜いて取り外します。
※他のコードを引っ張らないように注意してください。



- (4) スイッチコンセントをテープ（マスキングテープなど）で仮止めします。

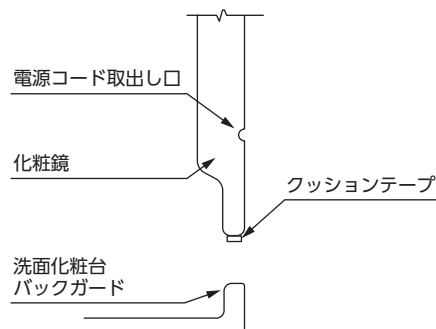
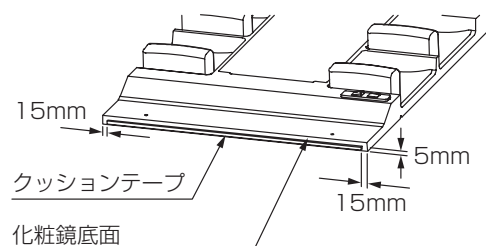


2. 取付・設置手順

2-1. 化粧鏡の取付け

- ◎取付・設置時は、必ず電源ブレーカーを「切」の状態にして取付・設置してください。漏電や、ケガ、器具を破損するおそれがあります。取付・設置後に電源ブレーカーを入れてください。

- (1) クッションテープの両面テープのはくり紙をはがし、右図を参考に化粧鏡の底面に貼り付けてください。
- (2) 化粧鏡を洗面化粧台のバックガードに載せて位置決めをしてください。



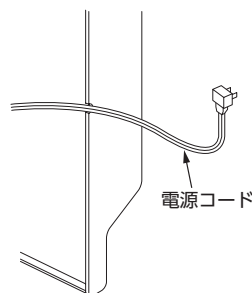
⚠ 注意

化粧鏡は底面のクッションテープをつぶすように下に押し付けながら取り付ける。

水が浸入し壁や床がぬれて腐食してしまうおそれがあります。

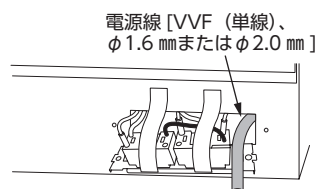
電源プラグの場合

化粧鏡を載せる際に、化粧鏡の側面の電源コード取出し口（切り欠き部）から電源プラグ付コードを出しておいてください。



直結配線にする場合

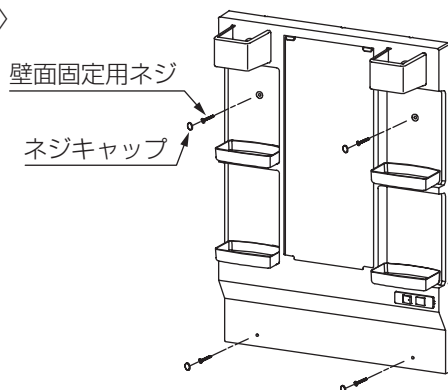
化粧鏡を載せる際に、壁から出ている電源線を右図のように引き出してください。



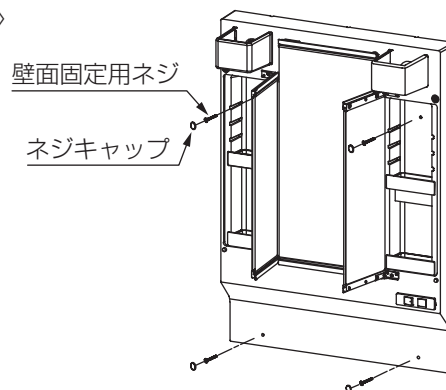
2. 取付・設置手順（続き）

- (3) 化粧鏡を付属のネジで、壁面の下地材に固定します。
(三面鏡は、左右ともに鏡扉を開けると固定用の下穴があります。)

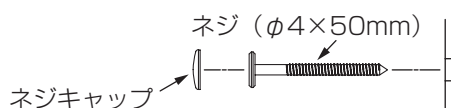
〈一面鏡〉



〈三面鏡〉



- (4) ネジ (φ4×50mm) の頭に同梱のネジキャップをかぶせます。

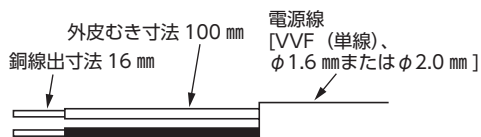


2-2. 電気工事

電源を直結配線するには電気工事が必要です。電気工事店にご連絡の上、以下の手順で行ってください。

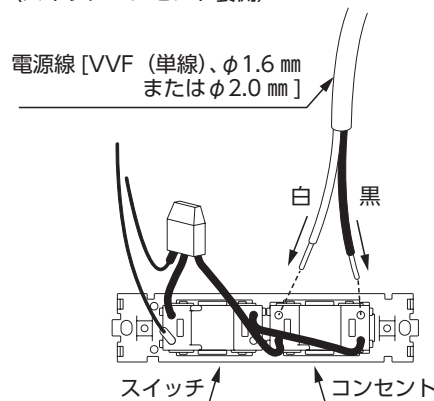
- ◎電源を配線するときは、電気工事店に必ずご依頼ください。電気工事は、法的資格を有する者が行う工事範囲です。法令・規定に従って、「法的有資格者」が行ってください。欠陥がありますと、漏電・火災のおそれがあります。

- (1) 電源線[VVF(単線)、φ1.6mmまたはφ2.0mm]を下図のように加工してください。



- (2) 仮止めしていたテープを外し、右図のようにコンセント裏の電源線差込口に電源線を差し込みます。

〈スイッチコンセント裏側〉



- (3) 結束バンドを右図のように他のコードの下をくぐらせて、電源線の外皮をむいた部分をまとめます。

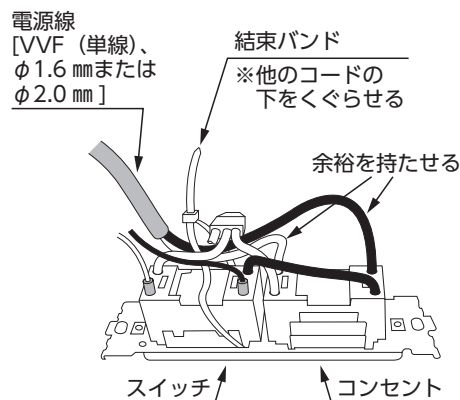
- ◎電源線や結束バンドで、他のコードに圧力が掛からないように注意してください。

- ◎電源線に余裕を持たせてからまとめてください。

- (4) 結束バンドを締めて固定します。

- ◎結束バンドで締めて固定する前に、電源線の長さを確認してください。長すぎる場合は、コンセント裏の電源線差込口から取り外し、切断してから再度取り付けてください。

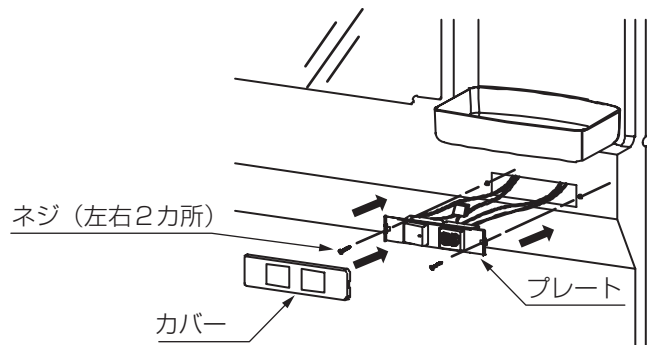
- ◎固定後、電源線を引っ張り、コネクタ部に力が加わったり、電源線が抜けたりしないことを必ず確認してください。



2. 取付・設置手順（続き）

（5）配線を化粧鏡の中に納め、コンセントを元の位置に取り付けます。

◎コードを納める際に、からまったり引っ掛かったりしないように注意してください。



2-3. 照明の取り付け

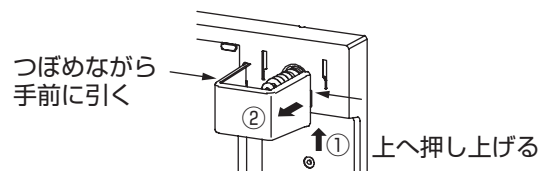
電球形蛍光ランプ、または、電球形 LED ランプを取り付けてから、照明カバーを取り付けます。

2-4. 照明カバーの着脱方法

（1）右図のように、照明カバーを上へ押し上げます。

（2）つぼめながら手前に引くと取り外せます。

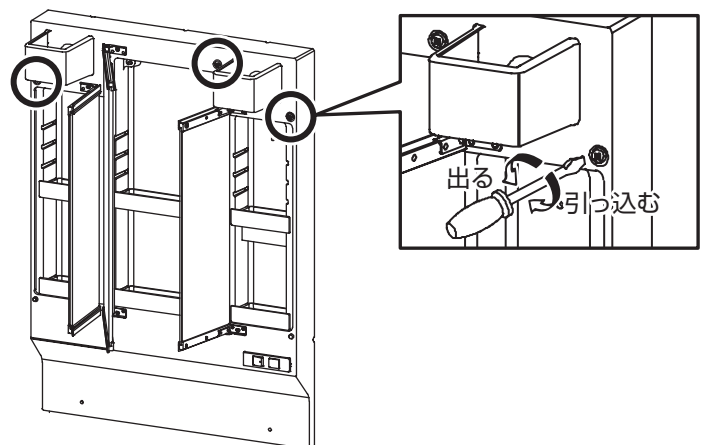
※取り付けは、逆の手順で取り付けられます。



2-5. 鏡扉の調整（三面鏡のみ）

鏡の前後がズれている場合は、右図のマグネット部を調整してください。

〈三面鏡〉



3. 仕上げ

3-1. 本体の清掃

（1）ちょっとした汚れは、柔らかい布などで軽く拭いてください。

（2）汚れのひどいときは、中性洗剤をスポンジか柔らかい布に含ませて、軽く拭いた後、水拭きしてください。水拭き後は、必ず乾いた布で水分を拭きとってください。

4. 点検

4-1. 安全点検

- (1) 設置完了後、必ず各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- ・照明の点灯確認

5. 完了後の処置

5-1. 商品の養生について

- (1) 製品はお引渡しまでの間、傷や汚れが付かない様、おおいをしてください。

5-2. 取扱説明書の保管・引渡し方法

- (1) 製品の取扱説明書は、とりまとめて指定場所に収納（保管）し、お引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

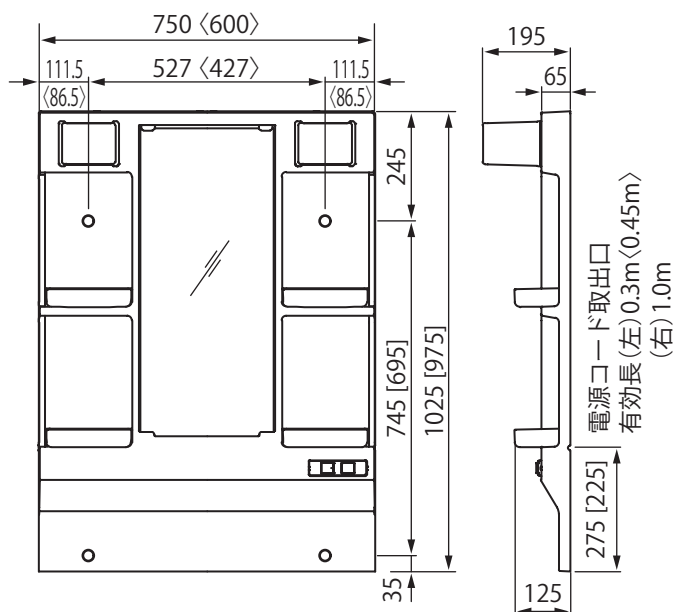
6. 残材処理

6-1. 梱包材その他残材の処置

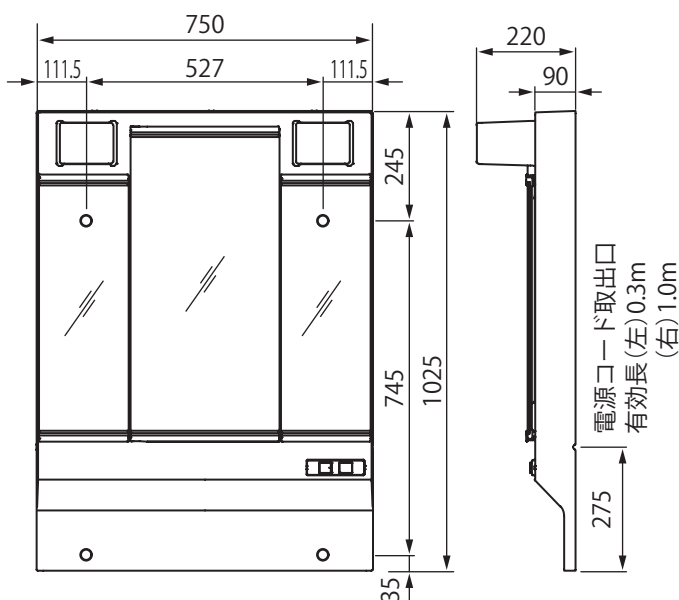
- (1) 不要部材を処分する場合は、必ず公的認可を受けている業者に依頼してください。

7. 寸法図

■間口600mm 一面鏡、間口750mm 一面鏡



■間口750mm 三面鏡



※〈 〉寸法は、間口600mm一面鏡を表す。

※[]寸法は、高さ975mmの場合を表す。

株式会社 ハウステック

群馬県高崎市栄町1-1 ヤマダ電機本社11階内 〒370-0841 Tel. 027-395-0410 www.housetec.co.jp